

DICENTIS Conference System

White Paper: DICENTIS



目次

1	概要	4
2	課題:	5
3	課題の克服: DICENTIS	6
4	性能	7
5	将来に向けた拡張性	8
6	セキュリティ	9
7	信頼性	10
8	拡張性	11
9	柔軟性	12
10	保守性	13
11	コストパフォーマンス	14
12	まとめ	15

1 概要

DICENTIS 会議システムは世界水準の性能を長期間にわたって発揮します。OMNEO メディア ネットワーキング アーキテクチャに基づく DICENTIS は、他のシステム、機能、IT インフラストラクチャと容易に統合することができ、オープン規格の進化とともに進化するシステムです。その結果、比類ない品質、寿命、セキュリティ、信頼性を実現しています。

2

課題:

将来に向けた拡張性を持つシステムで世界水準の性能を実現

今日のトップクラスの会議システムには、安全で連続した接続に裏打ちされた高い品質が求められます。

会議センターの IT マネージャーは、会議デバイスが 10 台だけの小規模な会議室から大規模な国際会議場に至るまで、配置の増加や会議要件の変更に合わせて装置をうまく組み合わせたり自由に移動したりできなければなりません。

また、会議システムには現在と将来の拡張性も必要です。新しい装置や機能に対応し、サードパーティ製の機器、標準ケーブル、その他のサブシステムと簡単に統合できなければなりません。余計な手間やコストをかけなくても、インストール、保守、調整、拡張のできる柔軟性と拡張性が必要です。また、より大規模な IT インフラストラクチャの中でスムーズに動作しなければなりません。

残念なことに、独自のプラットフォームやセキュリティプロトコルを使用する専用システムは、インストール、調整、保守に専門家が必要です。そのようなシステムは、多くの場合、サードパーティ製の機器や機能との対話に追加のインターフェイスが必要になります。他のシステムやサブシステムとの統合は容易ではなく、費用がかかり、不可能なことさえあります。「隠蔽によるセキュリティ」という考え方も錯覚です。セキュリティの知識が豊富な人がそのセキュリティを破ることは容易なものに対し、専門的なシステム知識のない IT マネージャーがそのシステムのセキュリティを回復させることは不可能です。そして最後に、プロプライエタリプラットフォームによってシステム全体の寿命が制約されてしまいます。プロプライエタリプラットフォームがオープン規格プラットフォームのように進化することはありません。費用のかかる最高水準のシステムでも、現在では 5 年以内に旧式になります。プロプライエタリシステムがクライアントに何の利点ももたらさないことは過去の事例から明らかです。

一方で、今日の最高クラスの会議システムは、オープンプラットフォームメディアネットワークアーキテクチャと標準 IP セキュリティプロトコルに基づいて、最高級の性能を備えた会議デバイスを幅広く提供する必要があります。オープンアーキテクチャによってシステムが将来にわたって進化できなければなりません。また、会議システムが他の機器やシステムとシームレスに対話できることと、装置間の安全かつ連続した接続が必要です。サードパーティ製の機器やシステムとの統合は迅速かつ容易にできなければなりません。なぜなら、オープン規格の IP プロトコルを使用すればベンダー固有の知識は不要となり、その結果、単一のサプライヤに依存することもなくなって保守のコストも低減できるからです。

3 課題の克服: DICENTIS

DICENTIS は、無期限に利用できるように設計された会議システムで世界水準の性能を実現し、統合もかつてないほど容易になっています。今日の市場におけるこのような製品では、将来に向けての拡張性、安全性、信頼性、拡張性、柔軟性、コストパフォーマンスの点で最も優れたシステムです。これはどのようにして実現されたのでしょうか？

サービス。DICENTIS システムは、すべて DICENTIS サービスによって構成、管理、監視されています。これらのサービスは一般に入手可能なハードウェアに搭載の Windows オペレーティング システムで動作します。DICENTIS は、特別なソフトウェアやファームウェアを備えたハードウェアとして開発されているわけではなく、一般に入手可能なハードウェアと標準的なオペレーティング システムで動作するサービスとして開発されています。したがって、IT 部門の通常の IT プロセスの一環として保守できます。

標準化が鍵です。DICENTIS は、標準化によって 1 室の会議室から国際会議センターに至るまであらゆるサイズの専門会議ネットワークに最適のシステムになっています。接続される装置の数や対象面積の大きさに関係なく、先例のない将来性、セキュリティ、信頼性、拡張性、柔軟性、コストパフォーマンスを提供することで世界水準のマルチメディア エクスペリエンスを実現します。

4 性能

DICENTIS は、発言者が 10 人であっても 10,000 人であっても、1 部屋であっても 100 部屋であっても、途切れのない自然な音声接続によって最大限の明瞭度と最高の会議エクスペリエンスを実現します。

DICENTIS サービスを Windows オペレーティング システム上で動作させることで、アプリケーションの性能要件に合ったハードウェアを選べるようになっていきます。コンピュータ ハードウェアの種類が多いので、要件を満たすソリューションが必ず存在します。加えて、Windows の仮想化機能を利用することで、IT 部門が DICENTIS ソフトウェアを複数の仮想マシンでホストさせることができ、すべてを同じハードウェア上で動作させることができます。したがって、所有コストを低減して保守性を向上させることができます。

5 将来に向けた拡張性

性能以外では、将来に向けた拡張性が今日のあらゆるシステムで最も重要な性質です。技術進歩は加速を続けています。5年おきに交換しなければならないような高価なシステムに付き合う余裕は企業にありません。オープンプラットフォームシステムが出現する前は、あらゆる技術においてその拡張性と寿命に制約がありました。オープンプラットフォームアーキテクチャに基盤を置いた新しいシステムはプラットフォームの進化とともに進化していくことができるので、柔軟性と寿命が無期限に延長されます。

Windows とそのコンピュータハードウェアが40年以上にわたって利用され成熟してきたことは、それが最高水準にあることを示しています。絶えず進化し、持続可能性があり、世界中で利用されています。しかも、最も重要な用途で使用されています。

このような理由によって、Bosch は Windows オペレーティングシステムとコンピュータハードウェアをプラットフォームとして動作する DICENTIS システムベースのサービスを開発しました。DICENTIS は、システム持続性の新時代を画する将来を見据えたシステムの 1 つにすぎません。

6 セキュリティ

DICENTIS は国際的に認められた暗号化規格を使用してあらゆる音声とデータに対応します。非常に機密性の高い会議において、この暗号化が、盗聴、不正アクセス、データ改ざんからの最善の保護策になります。なぜでしょうか。

公表されていないプロトコルを使用したプロプライエタリ ハードウェアを魅力的に思うかもしれません。そのシステムを知っているのは専門家だけです。しかし、残念なことに、プロプライエタリ ハードウェアおよびソフトウェアを最新の状態に保ってセキュリティに対する最新の脅威から保護するためには、システムへの更新版の装備にメーカーや IT 部門の非常に大きな労力が必要です。

これこそが、DICENTIS が Windows を基盤にしている理由です。Windows オペレーティング システムは Microsoft によって保守されます。同社は、新しいリリース、パッチ、バグ フィックスによってオペレーティング システムを間断なく保守し、適切なメカニズムを備えています。したがって、IT 部門がシステムを保守するにあたって統制が取れなくなったり大量の時間を浪費したりすることはありません。

同様に、Windows 環境のセキュリティに関する知識は、どのような IT 部門でも入手できる標準的な知識です。新しいトレーニングや外部の専門家も必要ありません。プロプライエタリ システムなら必要になってしまいます。

7

信頼性

会議マネージャーは会議システムに全幅の信頼を寄せることができなければなりません。サービスは Windows サーバ PC 上で動作します。したがって、信頼性の要件を満たすハードウェアプラットフォームを選択することができます。すなわち、冗長供給電力やハードディスクの RAID 構成などを採用できます。標準として冗長 PC 構成ソリューションを利用することも可能です。

8 拡張性

DICENTIS システムは、どのような規模の会議でもそれに合わせて対応することができます。システムのサイズや機能の多さによって、サービスに必要とされる性能要件は変わります。しかし、変わるのはサービスの要件のみです。したがって、コンピュータ ハードウェアをシステムの要件に適合させて、他のすべてのコンポーネントはそのまま残しておくことができます。さらに、コンピュータ ハードウェアの性能は毎年高まりますので、現在と将来にわたって適切なハードウェアが存在することになります。

DICENTISシステムは Windows サーバ PC 上で動作するサービスによって制御されています。したがって、必要に応じてより強力なものを選択できますし、システムが巨大化した場合は別のサーバでサービスを実行させてサービスの作業負荷を分担させることもできます。

9 柔軟性

DICENTIS プラットフォームでは、API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) を介してシステムと直接通信する機能や装置を IT マネージャーが追加できます。お客様がアプリを作成してカスタマイズした機能を DICENTIS システムに追加することもできます。たとえば、会議の制御もカスタマイズできます。考え得るあらゆるカスタマイズを行うことができます。

10

保守性

DICENTIS はインストールや統合が迅速かつ簡単であるだけでなく、保守も簡単です。標準の IP プロトコルとイーサネットを介して他のシステムと統合して接続するので、システムの調整、修復、保護は 1 回の作業で済みます。技術者は単一のネットワークを構成、運用、保守する方法を知るだけでよく、標準のルーター、ケーブル、スイッチは迅速かつ容易に交換できます。また、ネットワーク ツールを使用することで技術者が各自のネットワークと接続されている装置の概要をすばやく正確に知ることができます。それには DOCENT を使用します。

サービスは Windows サーバ オペレーティング システムにホストされていますので、企業の IT 部門が製品固有の知識を持つ必要ありません。

11 コストパフォーマンス

オープンプラットフォームの単一ネットワークで標準的なオペレーティングシステムとコンピュータハードウェアを使用することは、コストの削減にもつながります。高価で特殊な機器は必要ありません。それどころか、市販の製品、各自での設計したアプリ、既存のサードパーティ製システムを標準ケーブルを使用して統合することができます。他のアプリケーションとインフラストラクチャを共有すれば、お客様のコストをさらに低減できます。複数のネットワークを並列でインストールする必要がないからです。Bosch は標準 IP、セキュリティ、接続プロトコル、機器を今後も使用し、コストパフォーマンスのよい究極のソリューションを世界中のお客様に提供していきます。

12

まとめ

標準的なオペレーティング システムとコンピュータハードウェアを基盤とする DICENTIS は、将来を見据えたシステムによって世界水準のマルチメディア性能の最高の組み合わせをお客様に提供します。信頼性が高く安全で統合が容易な製品によって、今日の市場において柔軟性、拡張性、コストパフォーマンスに最も優れた会議ソリューションを提供します。



Bosch Security Systems B.V.

Torenallee 49
5617 BA Eindhoven
Netherlands

www.boschsecurity.com

© Bosch Security Systems B.V., 2019